

## ■ グループ紹介

# 日立電線株式会社

## 1. 沿革

当社は、昭和31年、株式会社日立製作所から電線事業に関する一切の営業を譲り受け、新会社として発足しました。しかし、その事業は古く大正7年、日立製作所が電線・伸銅品の製造を開始したときにはじまり、爾来同社の電線部門としてその規模を拡大してきました。

新会社としての発足は、事業の一層の発展を目指し、独立企業として機動性ある経営体制の確立を意図したものでありますが、この成果は、その後における事業の伸長により充分裏付けられているといえます。また、兼業部門として伸銅品・ゴム製品・工事・電子部品材料・機器その他の各部門を有し、その拡充強化にも努めるなど、積極経営を展開しています。

## 2. 事業内容

当社では、6つの製造工場を有し、各工場とも近代的設備を備えるとともに高度の品質管理を実施し、品質の安定した優秀な製品を生産しています。各工場の主要製品は次の通りです。

**電線工場：**各種自動車用ホース、防水シート等のゴム製品と半導体用リードフレーム、リード線などの電子部品材料等の生産を行っています。

**日高工場：**当社電線部門の主力工場として、電力ケーブル、通信ケーブル、各種絶縁電線を生産するほか、高周波製品等の機器類、光システム製品、化合物半導体等の生産を行っています。

**高砂工場：**最新鋭の自動化工場であり、制御・計装用ケーブルと化合物半導体を中心に生産を行っています。

**みなと工場：**当社初の臨海工場であり、平成元年から海底ケーブルの生産を行っています。

**豊浦工場：**銅荒引線を伸線し、電線・ケーブルの素材を供給するとともにエナメル線、アルミ線、クラッド材の生産を行っています。

**土浦工場：**伸銅品の専門工場であり、わが国で初めて無酸素銅の量産体制を確立した全自動連続鑄造設備で製造される無酸素銅を使用して銅管、銅条、成型銅、母線用導体等伸銅品の一貫生産を行っています。

このたび当社では、コーポレート・スローガンを「まーるい地球を、まーるくつつむ」と制定しました。これには日立電線の事業の核である、エネルギーと情報を通じて、人と人、人と世界、世界と世界をリンクし、私たちの住む地球をまーるく大きくつつみ込んでいこうというスケールの大きな姿勢が込められています。また、当社を取巻く多くの人々に対するやさしさ、思いやりを同時に表現したものです。すなわち、人々の快適で豊かな暮らしをめざし、新しい未来社会の創造に邁進する当社の事業展開、さらには、さまざまな活動による社会的貢献を通じ、社員、顧客、地域社会の人々のみならず、地球上の全ての人々をもつつみ込む当社の企業理念の宣言でもあります。

## 3. 現況

資本金 254億1983万円（平成2年7月31日現在）

従業員 5,607名（平成2年3月31日現在）

本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号

支店、営業所 大阪、福岡、名古屋等 10ヶ所

売上高 約3,036億円（平成元年度）

## 4. 研究開発

当社の研究開発は、当社電線・金属両研究所を中心に、日立製作所の中央研究所等の協力を得て、超々高圧送電、光通信システム、超電導、化合物半導体等に関する研究開発を強力に推進しています。さらに生産工場に所属する技術・製造部門では、取扱製品の改良および新製品の開発を行っております。

所在地：〒100 東京都千代田区丸の内2-1-2  
（千代田ビル）

（文責：電力事業部技術部長 武井 皓司）